

九州がんセンター訪問看護ステーション News Letter vol.7

コロナ感染が拡大している
今だからこそ、病院ではなく
自宅で過ごしたい

コロナの感染拡大に伴い、医療機関の面会制限は厳しさを増しています。緩和ケア病棟においても、登録した人だけが面会を許される状況で、時間や人数も限られています。

こういう時期だからこそ、
訪問診療や訪問看護を
利用して、
ご自宅で過ごしませんか？



- ※病院と同じ医療やケアを受けることができます。
- ※自分が慣れ親しんだ環境で過ごすことができます。
- ※お孫さんやご友人など、会いたい人に自由に会うことができます。
- ※入院と在宅療養を組み合わせることもできます。

在宅療養を安全に継続できるために

感染症の流行時

- ◆部屋の換気は30分から1時間おきに行いましょう。
- ◆自宅でもマスクを着用しましょう。
- ◆手洗いはハンドソープなどで丁寧に行いましょう。
また、こまめに手指消毒をしましょう。
- ◆こまめに水分補給をしましょう。
- ◆しっかり食べて、しっかり眠りましょう。
- ◆体調が悪い時は、仕事などを休みましょう。

在宅療養を継続するポイント

- ◆介護者や患者さんは、すべてを一人で抱え込む必要はありません。
- ◆家族内で窓口（キーパーソン：本人の希望になるべく沿えるように、家族や関係者の意見をとりまとめて、医療者と主にやりとりする人のこと）を決めておきましょう。
- ◆在宅療養について、繰り返し繰り返し、家族や医療者と話し合ひましょう。
- ◆親族間で情報や方針を共有し、在宅での緩和ケアや看取りについてすれ違いがないようにしましょう。
- ◆支援者となってくれる友人・知人を見つけておきましょう。

九州がんセンター
訪問看護ステーション

〒811-1395

福岡市南区野多目3丁目1番1号

電話番号：092-555-5102

受付時間（月～金）9時～17時

